

令和6年度 青森市子ども会議活動報告会

- 1 日 時 令和7年3月15日（土）13時00分～16時00分
（活動報告会：14時00分～14時30分）
- 2 場 所 青森市役所本庁舎 1階サードプレイス・3階会議室
- 3 出席者 子ども会議委員19名、子どもサポーター2名、事務局4名
- 4 活動内容
 - ・令和6年度青森市子ども会議活動報告会
 - （1）開会
 - （2）市長あいさつ
 - （3）令和6年度青森市子ども会議活動報告
 - （4）卒業委員から後輩委員へのメッセージ
 - （5）後輩委員から卒業委員への感謝の言葉
 - （6）市長からの感想
 - （7）教育長からの感想
 - （8）閉会- ・今年度の活動を振り返って

5 開催概要

ついに今年度最後の活動である、活動報告会を迎えました。

開会

高校生委員の司会進行により活動報告会が始まりました。出席した委員とサポーターの紹介をした後、市長からごあいさつをいただきました。



市長あいさつ

皆さんにお会いするのは昨年11月の子ども会議フォーラム以来となりますが、青森シェアし隊の皆さんは青森市の魅力の発信や子どもの権利の普及啓発について、どのように活動を続けてきたのか、UPDATE A. B. C.の皆さんは中高生の遊び場・勉強スペースマップがどのようになったのか報告していただけるのを楽しみにしています。



私も市長として皆さんに遅れを取らないように子育て支援のさらなる充実を図るなど、未来への投資となる新年度予算を編成するとともに、子育て先進都市の実現に向けた子ども・若者施策を強力に推進するため、新たにこども未来部という部署を設置したいと考えているところです。皆さんからの元気な声を、皆さんが住んでいるこの青森市にどのように活かせるのかイメージしながら、この取り組みをサポートしてまいりたいと思います。

本日の活動報告を通じて皆さんの活動が広く浸透し、来年度以降も継続的に充実した活動が展開されることを願っています。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度青森市子ども会議活動報告

青森市子ども会議フォーラムを経てからの活動について、ご報告します。

青森シェアシ隊では、子ども会議フォーラム2024でりんご狩りについて発表しましたが、アンケートで「(一般社団法人)青森県りんご対策協議会のホームページにある『りんご検定 見分けの達人編』をやってみてほしい」という意見があったので、子ども会議委員4名が実際にやってみました。『りんご検定 見分けの達人編』は、りんごの品種を写真だけで見分けるもので、全部で50問あり、40点以上で合格のところ、挑戦した子ども会議委員4名の平均点は35点で、合格者はなんと0名でした。色や見た目がとても似ているりんごや初めて聞く名前りんごがたくさんあって難しかったです。たくさん問題を解いていく中で、「世界一大きいりんご」と宣伝された『世界一』というりんごは名前もインパクトがあり知っていましたが、それよりも大きい『スタークジャンボ』というりんごがあることを初めて知り、特に印象に残りました。

そのほか、「子どもの権利や子ども会議の認知度がまだまだ低いと思う」という意見もいただいたため、子どもの権利についてわかりやすく紹介する子どもの権利新聞を作ることになりました。新聞の名前については、子どもの可能性がたくさんあることを知ってほしいという理由から、「子どもの可能性新聞」にしました。基本的な4つの子どもの権利について紹介することにし、クイズを入れたりイラストを描いてカラフルにしたりなど工夫しました。



続いて、UPDATE A. B. C. では、「中高生の遊べる場所や勉強スペースの調査」を行い、マップづくりに取り組んできました。このマップは、「中高生の遊べる場所が少ない」・「テスト期間に勉強できる場所が知りたい」という意見が挙がったことにより作成を開始しました。マップは、施設の利用できる日・時間帯や実施可能なスポーツなどを記載したほか、施設ごとに番号を振り、それを青森市の地図に入れ込みました。自分の家や学校から一番近い場所がどこなのか、探しやすくなっています。工夫した点は、勉強できる場所の紹介で、近くの休める場所もあわせて載せたことです。勉強中は小腹がすいたり、甘いものを食べながら休憩したくなったりすることがあると思うので、近くにコンビニやスーパーなどがあることも調べて載せました。

そして、2月にはゲームを通して子どもの権利を考えてもらうことを目的にした「子どもの権利トークイベント」を開催しました。トークゲームとしてディベートとディスカッション、そしてワードビンゴなどのお楽しみコーナーも行いました。昨年度は一般参加者が少なかったため、どうしたら参加者を増やすことができるのか考え、子ども会議委員それぞれが学校の友達に声をかけるなど、自分たちでできることを行いました。その結果、昨年よりたくさんの方に参加していただき、それぞれのグループでの話し合いが盛り上がりとても楽しかったです。

開催後には振り返りも行い、アンケート結果から参加者にとっても満足度の高い楽しいイベントになったことがわかり、嬉しかったです。また委員からの提案で、「事前に打ち合わせする時間も



う少し欲しい」や「ディベートの説明をもっと簡単にしてアイスブレイクを増やす」などの意見が出たので、これらの意見は来年に活かしていきます。

このように、「進化し続ける青森市」に、私たち子どものパワーも加えさらに進化させようと、今年1年いろいろな活動をすることができました。自分たちで企画したグループ活動ができたこと、青森市子ども会議フォーラム2024で自分たちの知らなかったことを教えていただいたこと、自分たちの意見提案に真剣に応えてくれたことが、一番嬉しかったです。

青森市子ども会議フォーラム2024で「いろいろな年代の子どもたちが一緒に活動できる場所を増やしてほしい」という意見提案に対して、西市長から「皆さんが望む『小学生・中学生・高校生などいろいろな年代が一緒に活動できる場所』について、市と一緒に知恵を絞りながら、一緒に考えていきましょう」と答弁いただきました。今年度限りでなく、来年度も継続して考えていけるよう、来年度も継続する委員が率先して考え、活動していきたいと思います。

今年1年間、私たち青森市子ども会議の活動にご支援くださり、ありがとうございました。

令和6年度青森市子ども会議活動報告書の提出

発表が終わった後、「今年度、私たちが楽しく活動できたのも、西市長をはじめ、みなさんのご協力をいただいたからです。ありがとうございました。」との言葉を添え、活動報告書を市長に手渡しました。あわせて、今年度作成した子どもの権利普及啓発Tシャツと市長の似顔絵が飛び出すメッセージカードもプレゼントしました。



卒業委員から後輩委員へのメッセージ

私は将来青森市を盛り上げることができるような仕事に就きたいと考えていて、そのための第一歩として青森市子ども会議に参加しました。高校3年生から参加してまだ1年しか経っていませんが、ねぶた祭を通して子どもの権利の啓発活動を行ったり、りんごを使った料理を作ったりなど、たくさんのことを経験し、学ばせていただきました。

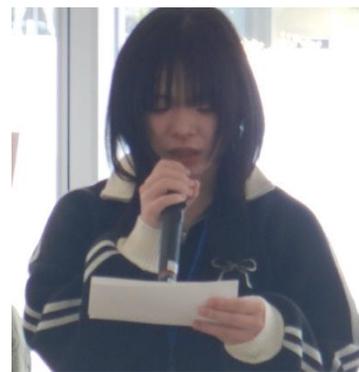
一番学んだことは自分と違う年齢の方々とのコミュニケーションの取り方です。この活動をしていく中で、たくさんの年代の方と関わる機会があり、どのように自分が立ち回ればよいか、悩むこともありました。回数を重ねていくと少しずつ理解し行動に移すことができたと思います。ここで学んだことを将来に繋げていきたいです。

最後になりますが、今まで支えてくださった皆様に感謝を申し上げるとともに、これからのご活躍を応援しています。ありがとうございました。



後輩委員から卒業委員への感謝の言葉

まずは、ご卒業おめでとうございます。先輩とは1年しか一緒に活動できませんでしたが、分からないことがあると優しく教えてくれたり、休憩時間にはお話をしてくれたり、とても楽しく充実した1年を過ごすことができました。最年長として話し合いがつかずいた時には積極的にアイデアを出してくれたり、人が足りないところでは進んで助けてくれたり、みんなを引っ張ってくれてとても尊敬しています。私も来年は卒業なので後輩委員に尊敬してもらえそうな先輩のような人になりたいと思います。短い間でしたが本当にありがとうございました。



市長からの感想

皆さん、報告をしていただきありがとうございました。報告の資料がとても簡潔に分かりやすくまとまっていたので、よく内容がわかりました。6月の第1回会議、11月の子ども会議フォーラム、そして今回の報告会と、日に日に皆さんが成長されているのが実感でき、大変嬉しく思っています。実際に活動を通してアンケートを取って、アンケートでいただいた意見をすぐ取り入れて、次のアクションを起こすということをしっかりやっているなというのがわかりました。

実は、青森市の魅力を大人でもあまり気づいてない人たちがたくさんいるので私もなるべくそういう魅力を発信するように、いろんなところで心がけていますが、皆さんはこうやって活動をしたことによって、青森市の魅力を他の人たちよりもよく分かっていると思っています。さらに発信していくことを心がけてもらって、皆さんが青森市の魅力をたくさん把握して、そして、他の地域の人たちに「いいでしょう、青森市」と誇らしげに言えるようなそれぐらいの立場になってほしいなと思っています。我が街を誇る気持ちはすごく大事ですし、これから皆さんが大人になっていっても、その気持ちは変わらないと思いますので、ぜひそういう気持ちが自分の気持ちとして持てるようになるまで、様々な活動を続けていただきたいと思います。

それから、小中高の皆さんだけじゃなく、大人も高齢の方も、皆さんと一緒に集まることのできる場所や一緒に活動できる場所を青森市としても作っていきたいと思っていますし、皆さんの協力があれば、そういうことができいくのではないかと思いますので、ぜひこれからもそういう活動を続けてもらえればありがたいと思っています。

これからも青森市が進化し続けていけるように、皆さんと一緒に活動していきたいと思っていますし、皆さんは後輩たちが入ってくるとしますので、そういう人たちを見守りながら一緒になって活動を続けてもらえればありがたいと思っています。本当にありがとうございました。



教育長からの感想



今年度の活動をしっかりとまとめた報告であり、発表の態度も見事でした。報告の中では見聞きしたこと、活動したこと、そしてそこから考えたこと、それを工夫して表現していること、さらには振り返りをしているということ、これは学ぶ方法としては抜群で、いい学習をしています。ここまで来るのにはサポーターを始め、様々な方が協力してくれたと思いますが、何と言っても発表している皆さんが生き生きとしていると思いました。今日は出番がなくて聞いているだけの方もいましたが、聞く姿勢もとても立派で素晴らしいと思いました。

それから、卒業委員と後輩委員代表のやりとりもとても今頃のシーズンにあった微笑ましい発表だったと思います。見ている皆さんもやがてそういう時が来ると思いますが、ぜひともこういう学びを各学校でも、それから卒業される委員も次のステージでまたこういう素晴らしい学びをしていただければと思っております。ありがとうございました。

今年度の活動を振り返って

活動報告会を終え、会議室に戻り今年度の活動を振り返りました。活動の中で、「意見表明できた」や「自分の意見が反映された・受け止めてもらえた」と実感できた委員が多かったです。

最後に、1人ずつ今年度の思い出や1年間一緒に活動した仲間たちに感謝の言葉などを発表し、卒業委員へ感謝の気持ちを込めたプレゼントも渡して喜んでもらえたところで、令和6年度子ども会議の活動はすべて終了しました。

みなさん1年間お疲れさまでした。

